

第1回公共施設のあり方検討市民ワーキングを開催



News Letter No.1
 長久手市総務部財政課
2017年8月26日(土)
13:00～16:00
 @西庁舎 3階研修室
【参加：17人】

長久手市の公共施設の現状について、市民の皆さんに知ってもらい、今後の有効活用などについて一緒に考えてくため、「第1回公共施設のあり方検討市民ワーキング」を開催しました。

これから各回ファシリテーターを務めていただく、公共施設マネジメントの第一人者として多くの実績がある名古屋大学大学院工学研究科准教授の恒川和久先生と財政課職員から、公共施設に関するレクチャーを行った後、皆さんで「長久手市はどんな場所？」をテーマに話し合いました。長久手市の良いところ、悪いところなどたくさんの意見が出て、これらを基に、今後はより具体的な検討に入っていきます。

■公共施設に関するレクチャー(恒川先生、市財政課)

恒川先生から、施設の老朽化、人口減・少子高齢化、厳しい財政状況など公共施設を取り巻く全国的な問題点や、これらに対する国の動向、公共施設マネジメントにおいてこのワークショップへの期待などのレクチャーを実施。本市は、比較的近年に見られる人口増加に伴い、全国的なピークから少し遅れて公共施設の建設を進めてきたために、比較的施設の老朽化が進んでおらず、**人も施設も若いまちであり、差し迫った状況ではない今のうちから市の施設に関する方向性をじっくり検討できるのは有益である**との分析結果も示していただきました。その後、市の担当者から本市の人口や人口構造の変化、市の策定した公共施設等総合管理計画の中身などについて説明を行いました。その中で、本市の施設は比較的若いとはいえ、今後数年間では学校施設、子育て関連施設などの施設需要や、老朽化した市役所庁舎の建設等、**喫緊の課題もあること**など、留意点にも言及がありました。

- (恒川先生のコメント)
- ・市の1人あたりの用途別施設面積を見ると、公営住宅が少なく、かわりに**医療保健施設(福祉の家など)、文化施設(文化の家)、図書館などの面積が大きいようだ。**
- ・小学校区別に見ると面積としてはバランスがよいが、主要道やリニモ沿線には比較的少ない。しかし、**大学、博物館、モリコロパーク、商業施設など市有以外の施設が充実しているのも特徴だ。**
- ・アンケート結果によれば、公共施設の利用率は全体的に低い。

- (財政課のコメント)
- ・人口減少社会に反し、長久手市は人口が伸びていて今後も一定の施設需要がある中、更に、老朽施設の更新についても考えていかなければならない。
- ・施設の更新にあたっては、例えば**文化の家などの施設の更新費用を短期間で調達することは困難**であり、市全体の公共施設や財政状況を踏まえて年度間の負担の平準化などよく検討しなければならない。
- ・各小学校区で地域共生ステーションの整備も進んでいる。

グループワークの様子



恒川先生の進行により、5つのルール
 ①人の意見は最後までよく聞く
 ②思いついたことは言ってみる
 ③否定しない
 ④全員が意見を出す
 ⑤その場を楽しむ

を守り、各テーブルでテーマ「**長久手市はどんな場所？**」について、**良いところ、悪いところ**などを考えてもらいました。ワーキングには、名古屋大学の学生さんたちにも協力していただきました！！



住みやすい、緑が多い、若いまち...

交通渋滞、駐車場問題、地域のつながりが薄い...



<プログラム>

- 13:00 あいさつ
- 13:10 レクチャー①
「公共施設を取り巻く現状について」
／名古屋大学大学院 恒川准教授
- 13:40 レクチャー②
「長久手市の公共施設等について」
／長久手市財政課長補佐兼財政係長
- 14:00 質疑・応答
- ☆グループワーク☆
- 14:25 自己紹介
- 14:40 グループごとに話し合い
テーマ:「長久手市はどんな場所？」
- 15:40 成果発表・講評
- 15:55 次回案内

■ グループワーク結果～長久手市ってこんな場所～



● (Aグループ)

- 「旧住民は、繋がり、伝統も多く残るまちとも言えるが、新住民が多く、繋がりが総じて希薄。」
- 「若者が多く活気があり、学童、放課後児童クラブ、児童館など子育て施設の充実を図っている。」
- 「通学路など歩道が狭く、商業施設ができてから交通渋滞も発生しており、道路の整備も課題。」
- 「文化の家、福祉の家、図書館など、立派な公共施設がある。」

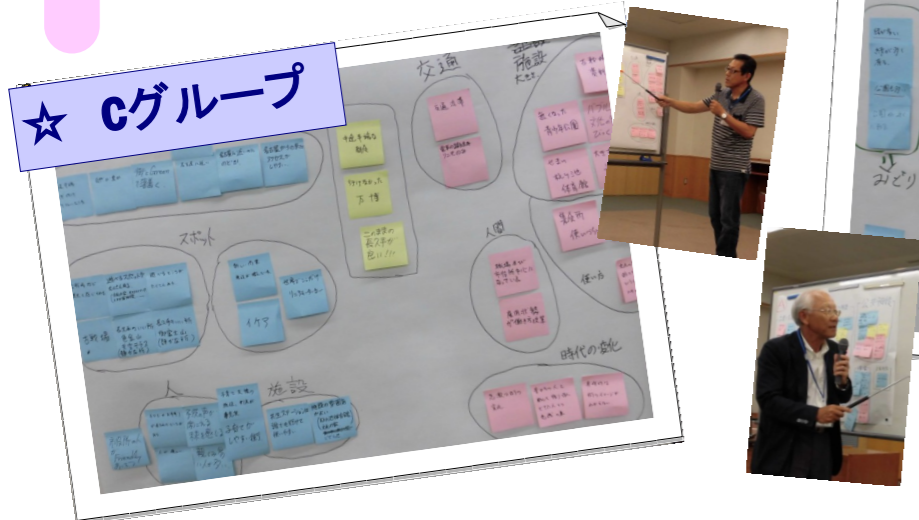
● (Bグループ)

- 「公園もたくさんあって、緑が多いまち。」
- 「商業施設もたくさんあり、20分以内の移動で生活ができる、住みやすいまち。」
- 「地域でのまとまりが薄く、集まろうにも参加者が少ない。」
- 「車社会で、歩いて移動するには限界がある。」
- 「近年急速に商業施設など乱開発が進んでいてなんだか心配だ。」

● (Cグループ)

- 「名古屋市に近くて便利。」
- 「モリコロパーク、文化の家、博物館、古戦場、ござらっせなど遊べる場所がたくさんある。」
- 「子供の声が聞こえ、未来を感じるまち」
- 「市役所の人がフレンドリー。」
- 「大きすぎる文化の家が負担にならないか心配！」
- 「集会所が使いづらい！」

☆ Cグループ



☆ Bグループ



＜主なQ&A＞

- Q 施設の更新を検討するにあたり、減価償却費などは考えられているのですか。
- A 現状の全国一般的な自治体会計では今まで考えられていませんでしたが、新しい公会計基準でこれから考慮していくこととなります。
- Q 市有でなく地域所有の集会所などは、このワーキングの検討対象ですか。
- A 市の総合管理計画の対象外ではありますが、今後の施設のあり方を広く考えていく上では一緒に検討していただきたいです。
- Q 老朽化した施設などについて、耐震化したらどのくらいもつのでしょうか。また、市の公共施設は耐震基準をクリアしていますか。
- A 本市の公共施設は、公園のトイレなどの一部を除いてほぼ全て耐震化が完了しています。ただし、耐震化したからといって、延命したことはないのです。
- Q 長久手は施設も人も若く、これから人口が変わっていく中で、どのような点に着目して考察すべきでしょうか。
- A **そういったことこそ、ワーキングで是非皆さんと一緒に考えていきたいのです！！**

- グループワークを通じて、長久手の特徴が見えてきました！！
- 今後は、更に深く市の公共施設について考えていきます。
- 次回は、実際に市のさまざまな公共施設をバスで回って見てもらいます。意外と知らない、行ったことのない公共施設もあるかもしれません。実際に現場に足を運んでいただいた上で、その後公共施設の課題を洗い出し、どうすべきかまで皆さんと一緒にこれから考えていただきます。各回の参加もOKですが、**第2回については先着定員35人**となっていますので、是非お知り合いなどお誘いの上、財政課までお申し込みをよろしくお願いします！！

次回案内

★ 第2回 公共施設を見に行こう ★

9月24日(日)午前9時 市役所正面玄関前集合(正午終了予定)

※事前申込み制。定員35人。お申し込みは、総務部財政課まで

